



福祉施設 広報誌

木もれ陽

No.77

2020.夏号



デイケアセンター利用者の方々の作品

木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光

木立の中の生命を育てる光

それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である

「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」

「あたたかい思いやり」である

岡山県済生会の理念とビジョン

～切れ目ないサービスのために～

岡山県済生会の理念

あらゆる人々に手をさしのべる済生の心で
まことの医療・保健・福祉のサービスにつとめます

岡山県済生会のビジョン

(社会におけるポジション)

1. あらゆる人々に信頼されるパートナーを目指し、良質・安全で、潤いのある医療・保健・福祉サービスを提供する岡山済生会トータルライフケアシステムを実現します。

(事業経営の将来像)

2. 済生会グループの総合力を活かし、地域との連携のもと、医療から介護に至るまでの一貫したサービスが提供できるネットワークを構築します。

(組織の人のあり方)

3. 適切な人事評価やキャリアアップ支援など、職員が誇りとやりがいを持てる組織を目指し、職員満足と健全経営の両立を図ります。

目

次

- ライフケアセンター…………… p 2 ～ 9
- 憩いの丘…………… p10～11
- 備中荘…………… p12～13
- 宇垣荘…………… p14～15
- 玉松園…………… p16～17
- 和みの郷かなや…………… p18～19
- 新人紹介…………… p20



新型コロナウイルス感染対策のため

受付に検温システムを導入しました

サーマルカメラに近づいていただくと瞬時に体温が計測されます。
 平熱であれば、「アクセス許可」という言葉とともに体温が表示されます。
 もし体温が高いと「体温が高すぎます」という警告がなされます。また、マスクをつけていなかったら、「マスクをつけてください」という警告がなされます。



・正常な場合



・発熱がある場合
 ・顔登録していない場合
 ・マスク未着用の場合



・体温検知
 ・マスク有無判定
 ・人物認識

🔊) 体温が高すぎます

🔊) アラーム音で注意喚起

🔊) マスクを着用してください



今年度の研修では、新型コロナウイルスの影響もあり、3密を避けマスク着用、手指消毒、換気を行い研修が進んでおります





七夕飾り



7月に入り七夕様の笹が用意されました。
今年はコロナの影響もあり3密を避けながら七夕飾りを笹に取り付け短冊には「コロナ去れ」「平穏な日々を」との願いを入居者の方々と共に書きました。

8階の吹き抜けの手すりに飾ってもらいとっても豪華で綺麗ねと沢山の声を頂きました。皆様の願いが叶いますように。

介護職員 白坂 未来



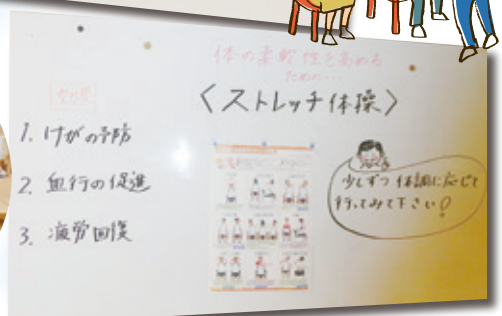
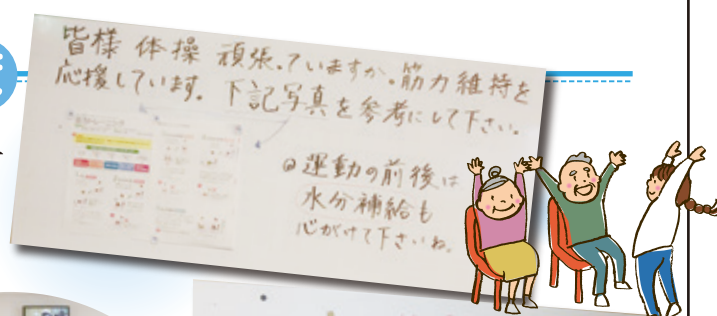
コロナ感染防止対策

やよいの里ではコロナ感染防止の為、入居者様方にご協力頂いています。

1つは交流が以前より難しいですが、入居者同士の距離を開けて頂いています。

又、食堂にはテーブルに入居者様と一緒に作った手作りのついたてを置きました。

制限が続き疲れやストレスを抱えながらの生活ではありますがコロナに負けず皆様一緒に乗り越えて元気に過ごしていきましょう!!



介護職員 雲岡 祐加

なごみ苑

有料老人ホーム(混合型特定施設)

《感染対策についての講習会》

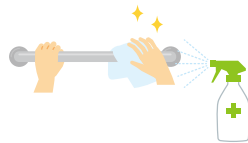
5月21日(木)に感染対策についての伝達講習を行いました。
感染予防の基本である

1. 持ち込まない。
2. 拡げない。
3. 持ち出さない。



ということを中心に予防策について職員全員で再確認しました。さらに今回は座学だけではなく、嘔吐物の処理方法について実践しました。実際にやってみると、処理方法についてのみならず、ビニールエプロンの脱ぎ方、手袋の脱ぎ方に至るまで、いろいろな意見が飛び出し非常に有意義な時間となりました。

新型コロナウイルスが猛威を振るっておりますが、なごみ苑では職員が一丸となって感染予防に努めています。今後もこのような学びの時間を持ち、徹底した感染防止対策を続けることで、入居者様、ご家族様が安心できる施設作りに努めてまいります。



《七夕茶会》

7月7日に、七夕茶会が開催されました。今年は、新型コロナウイルスの感染拡大予防の為、七夕の歌を歌ったり、談笑の時間を設けることは残念ながら出来なかったのですが、久しぶりのお茶会ということで、たくさんの方に参加して頂くことができました！！

今年の水菓子は、イオンモール岡山にある「日本橋長兵衛」の“金魚”の入ったゼリーをお取り寄せしました。まるで、金魚が泳いでいるような涼しげなゼリーで、入居者の方に好評を博しました☆彡

七夕の由来をお話しした後は、短冊に書かれた願い事を読み上げました。「コロナウイルスが早く収束して世界が平和になりますように」「毎日健康で過ごせますように」「いい補聴器が欲しいよー」など、たくさんの願いが笹につるされていました。

今年はコロナウイルス流行のため、楽しい行事が色々中止となっています。一刻も早い収束を願ってやみません。皆さんに、一日でも早く日常がもどりますように☆彡



生活相談員 入江 浩嗣

介護職員 渡邊 由美

みなみがた荘

特別養護老人ホーム

事業所内での新型コロナウイルス感染症対策として、感染者が発生した場合の対応シミュレーションを7月27日みなみがた荘で行いました。

あらかじめ、関係各所からの対応指針を元に多職種が集まり、当荘のマニュアルを作成して感染疑い事例の発生からの初動と感染発覚後の対応について共通理解を深めました。



シミュレーション当日は職員1名が発症したことを想定し、行政等の関係機関や入所者家族との連絡、消毒作業、入所者の区域分け、そして濃厚接触者を想定した入所者の個別ケア（排泄や食事介助、看護業務等）を職員一同で協力して行いました。

シミュレーションに参加した職員からは、「一連の流れがわかった」「ガウンやフェイスガードなどの个人防护具の着脱法の確認ができた」といった声や、「消毒液が足りないところがあった」「清潔不潔が曖昧な箇所があった」といった意見が聞かれるなど、実際の動きをしてみて初めて確認できたことが多々あったように思います。まだまだ不安な点はありますが、今後またこれらの問題を解決していきたいと思います。



7月下旬より、岡山市内での感染発生が日々報告されており、岡山駅近郊に位置している当荘においても、これはもはや対岸の火事ではないと思われま。施設全体を通して、個人の健康管理への注意喚起や外部からの入館および面会制限といった対策を行い、「コロナにかからない」「持ち込まない」よう予防に努めております。

一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息するのを願いながら、今回のマニュアル作成とシミュレーション実施が有事の際の備えになればと思います。



理学療法士 原田 一生



なでしこ苑

介護老人保健施設

5月の屋台

少しずつ暑くなってきた5月。今年も屋台を行いました！全体で行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で残念ながら各階での開催となりました。

なでしこ苑ではいま流行りのタピオカ屋です！

タピオカの味は抹茶味やイチゴ味、杏仁豆腐味などいろいろあり悩みましたが、初めて飲む方が多いのではなかろうか？ならば定番中の定番でいこう！となり、ミルクティー味に決定！お菓子も何種類か用意して好きな物を選んで頂くようにしました。

そして当日、屋台の登場です！適度に間隔を開け一人ひとり屋台に並んでもらったらタピオカとお菓子を手に、いつもの席へ。皆様一瞬で完食！「おいしかったわあ。」という声や、なんだか不思議そうな顔をされている方、もう一杯飲もうと、もう一度並ぼうとされる方も（笑）。短い時間での開催となりましたが、皆様の笑顔を見て、職員達も笑顔でいっぱいでした。

新型コロナウイルスの影響で面会や外出などできず、できる事も限られてはきますが、少しでもいつもとは違う時間を過ごしてもらって気分転換になり楽しんでもらえたならとても嬉しく思います。これからも皆様の笑顔を増やしていけるよう努めていきたいと思ひます。

介護職員 倉本 綾佳



なでしこマツケンサンバ隊

コロナ感染でご家族とも会えず日々苑で過ごして頂いている入居者の方々に少しでも元気に笑顔になってもらいたい気持ちで、なでしこ苑では中止になったライフケアカラオケ大会の代わりに苑で職員による仮装マツケンサンバを披露する事にしました。

この日の為に各自練習を重ねてきました。

練習初日テレビでお手本を見ると何とも簡単そう戸これなら私にも出来る！と高を括っていたのですが、実際踊ってみると、まあ難しいこと(;´Д`)

一曲踊ると大量の汗が…。これを毎日踊ったら当日までにはスリムな体型になるかも♪な～んて邪な考えも持ちながら自主練！！

コロナ禍の影響もあり6名全員揃って練習できたのは1回のみ。

いよいよ当日。法被を着た女性職員4名が前奏にあわせて手作りの派手なバチを振りながら踊りながら中央に向かい、膝をつき主役2人を出迎えます。

そしていよいよ歌が始まると白塗りした男性職員のマツケン達が登場！！場内に笑いがおこります。客席には2人の名前を書いたうちわを振って応援して下さる方もいてサンバ隊も一層気合が入りました。テンポの良い軽快なリズムなので、曲に合わせて手拍子をする人、歌を口ずさむ人、踊りを真似てみる人、それぞれ楽しんで下さっていました。

当日は感染も考慮し皆さんには一定の距離も保っていただき短時間の演芸となりましたが皆さんの笑顔や笑い声を聞く事が出来て、披露できて良かったと改めて感じました。

コロナが収束した暁には盛大なマツケンサンバを再び踊りたいものです。

介護職員 三好 由美子



〈2F〉《6月の誕生日会》

蒸し暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。2Fではこんな暑い日にピッタリ?のゲームを行いました。その名も【箱の中身はなんだろな?】。ルールは簡単!箱に手だけを入れて中身を当てるゲームです。中身は小さい物や大きい物、ツルツルした物やフサフサした物など様々。観客側からは中身が見えるように箱を改造して、さあ本番!1人ずつ順番に箱に手を入れます。観客側のリアクションも良く、恐る恐る手を入れる皆さんの表情は少し不安そう。そんな事は関係ないとばかりに職員が中の物を動かします。「うわあ」とびっくりして手を出す人や冷静に「何これ?」と触る人など反応は様々。中には驚きすぎて箱から物をつかんで出してしまう人も(笑)。最後は職員も挑戦。中身はおもちゃのヘビです。職員が触ったりつかんだりするたびに会場からは終始笑いや悲鳴が聞こえていました。



コロナウイルスの影響で窮屈な生活が続いています。岡山の感染者数もどんどん増えており不安を感じる毎日ですが、終息することを信じて笑顔で楽しく乗り切りましょう。

介護職員 上田 悠人

〈3F〉《♪カラオケ♪》



3Fでは春号でユニットリハビリの様子を紹介しましたが、利用者の方々の好みに合わせたレクリエーションやクラブ活動も随時行っています。

お花・作品作り・体操・カラオケ等、余暇時間を有意義に楽しく過ごされています。塗絵や折紙を熱心にされる方。漢字・計算ドリルに集中して取り組まれる方。季節の作品をコツコツ丁寧に作る方様々です。

今日は、最近出番の多いカラオケで気分転換です。「歌うのは苦手だけど聞くのが好き!」と言われ参加して下さる方は「この歌知っとる!!なつかし〜。」と、口ずさみながら、映像を観て音楽を聴いて良い刺激になっている様です。ユニットなので少人数ですが、利用者の方々と向き合いながら、ゆったりした和やかな時間を過ごされています。

新型コロナウイルスの影響で施設の行事が中止となり、ご家族様に会えず憂鬱な日々の中、私達は一人一人の心と身体がより良い状態に向かう事を考え安全で快適な生活が送っていただけるように努めています。

今後も、厳しい状況は続きそうですが、利用者様の心に寄り添い、季節感を感じながら安心して暮らせるよう環境を整える配慮を心がけています。

介護職員 中山 真由美

〈4F〉《7月誕生日会》

7月の誕生日会で4Fのもみじユニット、さくらユニットでは二人羽織を行いました。利用者様が食べる役を行い、職員が目隠しをして食べさせる役を行いました。豆知識として、羽織は室町時代の頃から存在しましたが、一般の方が着るようになるのは江戸期です。江戸末期には二人羽織が記載されたものもあり、すでに存在していたことが伺えます。寄席ができると大喜利で二人羽織が人気になったようです。

この度は食材に、そうめんとエクレアを使用しました。利用者様がうまく食べられる組もいれば、顔がそうめんだらけになったり、エクレアのクリームが顔全体にべっとりつくなどのハプニングで、利用者様は大爆笑でした。今は、ご家族様と面会ができない環境下で少しでも利用者様が楽しく過ごすことができたと思っています。

介護職員 難波 秀一



デイケアセンター

通所リハビリ



初夏の新緑が軟らかさを感じさせる季節となった頃、デイケアでは一足先に「コーヒーフロート」を皆さんでいただきました。

コーヒーフロートは若者たちの間でよく飲まれており、昔で言うなれば「クリームソーダー」の一種の飲み物です。昔も間違えてアイスを入れ飲まれていたとも言われていますが、今回は利用者様のお話を伺い作ってみることにしました。



「甘くて美味し〜い♥」「冷たくて、喉越しがいいわ♥」と、とても好評でした。

今後も色々試して、皆さんに喜んでいただきたいと思います。(^^) 楽しみにしててくださいね!! (^_-)☆



「出来ました!」「完成!」「素晴らしい!」 デイケアの『ゴッホ』や画家達!!

【ちぎり絵】

細かく紙をちぎりピンセットでのり付けをし、一枚一枚丁寧に貼っていく作業です。“ゴッホ ひまわり”究極のレプリカ作品です。

紙を小さくちぎるのも大変だったのではないかと…!

紙を小さくちぎるのも大変だったのではないかと…!



【シールアート】

ラベルシール・マスキングテープを使用し絵を作成していきます。

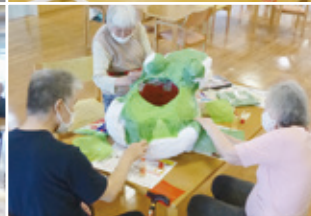
思いもよらないほどのリアルな絵や立体方の絵など今までに見たことのない作品となり、感動そのものです!!



その他デイケアでは余暇活動を使って季節に応じた作品を利用者様と一緒に作っています。

かざぐるま・カエル・ヒマワリ…と、時には利用者様の奥様の作品をアレンジし素敵な作品になりました。

是非 皆さん一度2階デイケアに、見に来ておくれやすう〜!



脳トシ



今はやりの脳を活性化させるトレーニングを取り入れ行っています。

???皆様の頭脳はどのような作りになっているの???

塗り絵・熟語・ナンプレ・連想ゲーム・点つなぎ…と数知れず程の問題を、凄まじい程の集中力で

行われる方々。頭が下がる思いで拝見しております。

何か良い脳トレあれば教えてくださいな〜いね(o^—^o)ニコ



介護職員 吉原 由美

デイサービス通信

デイサービスでの作品作り

デイサービスでは、その時期に合った作品を利用者様と一緒に作成しています。

今回のテーマは…そう、夏！！

コロナ感染対策の為、『皆さん集まって』というわけにはいきませんが、少人数グループに分かれて頂き、分担して作っていただきました。



「これは何ができるん?」「こうやった方がええわ!!」などと楽しそうな声が多く聞こえるなか（もちろん、席の間隔をあけて、マスクをしてコロナ対策はバッチリです。）、毎回あつという間に素敵な作品が完成します。皆さんの意欲と手先の器用さには脱帽です。

これからも皆様とたくさんの作品を作っていきたいと思います。

デイサービスでのうな丼

7月21日は土用の丑の日!! デイサービスでも、『うな丼』が出ました。

「美味しそう!」「ご馳走じゃ!!」などの反応もあれば、「私はウナギはちょっと…」という方もいらっしゃいました。もちろんその方には別のご馳走を!!

美味しいものを食べて、体も心も元気に暑い夏を乗り切りましょう。



実習生レクリエーション

デイサービスへ来ている実習生がゲームを提案してくれました。今回は『輪投げ』と『魚釣り』。2グループに分かれての競争です。

まずは輪投げ!! 輪になり順番に自分の輪を投げていきます。

「がんばれー!」「あー!入らなかった!!」と身体を前へ乗り出し、皆さん夢中に輪を投げられていました。スタッフは椅子から落ちるんじゃないかとヒヤヒヤするくらい…。

次は魚釣り!! 一緒のチームで頑張ります。

器用に何度も釣り上げる方やひもが絡まってしまう人。皆さん悪戦苦闘しながらもたくさん釣り上げていました。

終了の合図が出てもなかなかやめることが出来ないくらいに夢中の方やいつものんびりしている方が、実は負けず嫌いだった。新たな特技として魚釣りを書けそうな程釣り上げた方。こういう時にこそ、普段見れない部分が見られて楽しかったです。



何より、皆さんの表情がとても生き生きされていて、私が元気ももらえました。ありがとうございました。

デイサービスセンター 板野 文映



特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム 憩いの丘

本年は、新型コロナウイルスの影響で施設での行事が行えず利用者の皆様と楽しいひと時を過ごす事が出来ず、残念でした。

ユニット交流も難しい状況であったのでひまわりの家では利用者の皆様と一緒に壁紙や飾り物の作成をしました。

色画用紙や折り紙、絵の具などを使い四季折々の大作が所狭しと飾られています。どの作品も色とりどり鮮やかで食堂の雰囲気も和やかになります。

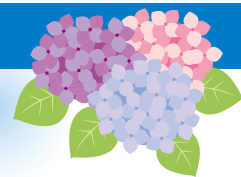
5月 藤棚

玄関前にある藤棚をイメージして作成しました。細長く切った色画用紙を丸めて繋げています。



6月 紫陽花・睡蓮

長雨で憩いの丘に続く道の傍らの紫陽花も色鮮やかに咲いていますが、ひまわりの家に飾られている紫陽花もとても綺麗に咲いています。



7月 吹き流し

今年の七夕も残念ながら雨降りでした。大きな笹に願い事を書いた短冊をかけ両脇に切り紙の吹き流しを制作しました。

吹き流しには、織姫にちなんで、機織が上手になりますようにという由来があります。



介護職員 保本 弥生

憩いの丘 デイサービスセンター

2020 盛夏の壁紙「麒麟がくる」

今年の大河ドラマは放送前から何かと話題もあり、またそのタイトルも魅力があります。穏やかな国にやってくるという麒麟。動物のキリンとは違って、王が仁ある政治を執る時現れる聖なる獣のことだそうです。豪華俳優陣が戦国の世を演じ、明智光秀が魅力的に描かれています。時はコロナ禍、早く落ち着いた世の中にと思いを込めてご利用者と作りました。実際のタイトルバックをモチーフに、左に桔梗紋の幟、中央には、戦いの後ビールを手にした明智光秀、上空には麒麟が。下には本物の麦の穂を貼りました。被り物の色彩や甲冑の貼り方などにもご利用者のこだわりがあり、いろいろアイデアを出してくださいました。「これは何になるんでー？あー。大河ドラマのかー。」とだんだん形になってくると武将の名前や歴史の話など話題も広がったようです。ご利用者の皆様には感染対策にご協力の上、安心して元気で参加して下さることに大変感謝しています。この壁紙を見ながらコロナ退散を願うばかりの今日この頃です。

生活相談員 矢尾 みずほ



手作りおやつ“たこ焼き”



「今日も雨じゃなあ」「毎日毎日よう降るなあ」「降る言うたらバリバリ音がするほど降るんじゃ!」「コロナも落ち着かんなあ」「みんな大変じゃなあ」とご利用者の方々も油断できない社会状況を気にしておられます。そんな中で、やっぱり食べる事で元気な笑顔になってもらおうと、職員で焼きました!

結果は「😊おいしい!」「外はカリッと、中はトローリと焼けとる」「焼きたては中々食べれんからなあ」とおかわりされる方もおられました。コロナ禍ではありますが、これ以上感染が拡大しないよう、個々人の行動に気を付けながら、自分や大切な人、そしてこの社会を守るため、出来る限りの予防策をとり、協力し合って参りたいと思います。

生活相談員 片岡 なおみ



介護老人保健施設

初夏の彩り弁当に舌鼓

備中荘では平成28年より“初夏の彩り弁当”と題して毎年6月に松花堂弁当を提供しています。今年は6月26日に実施しました。入居者様から「今日は何の日？」と尋ねられ、「梅雨のじめじめと新型コロナを吹き飛ばせ！の気持ちを込めました」とお伝えしました。日頃なかなかお出しできない天ぷらや、枝豆や茶そばなどの季節を味わう品。“彩り”の主役・紫陽花を模した和菓子など、一つ一つ心を込めて作りました。「わーすごい」「美味しかったわぁ」の声が聞かれ、頑張ったかいがありました。ご家族様となかなか会えない、外出もできない今の状況で、少しでも皆様の気持ちが安らいで頂ければと思いますながら、次のイベントメニューを思案しています。



管理栄養士 谷口 直美

事故対策委員会・身体拘束適正化委員会の研修

新型コロナウイルス感染症により、多くの職員が集まった研修は蜜を避ける為、委員が中心となり、各ユニットの職員等へ資料を基に研修を実施しています。職員全員の研修受講の為、数日間に分けて、時間を調整して実施しています。今年度に入ってから、事故対策委員会・身体拘束適正化委員会の研修として、「窒息・誤嚥時の対応方法」「ガウンテクニック」「事故集計報告」に関して実施しました。

感染症の予防もしつつ、利用者様の安全を第一に考え、利用者様に安心して生活をして頂けるよう、研修に取り組んでいきたいと思っております。

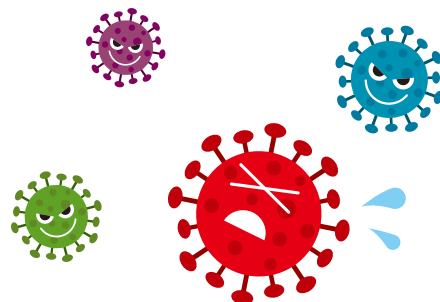
看護職員 西崎 恭子



新型コロナウイルス感染症発生時の対応演習を実施

令和2年5月初旬、施設における新型コロナウイルス感染症発生時の対応演習を実施しました。この対応演習は、岡山市事業者指導課からも実施指示があり、同課からのテンプレートを基に、備中荘内で新型コロナウイルス感染症が発生した場合を想定し実施することとなりました。管理者を含め各職種が参加し、対応方法や連絡先、どこにどの段階で報告していくのか等の確認をしました。保健所をはじめ、施設内、併設病院、本部、支部等との連携を、スムーズ且つ確実に対応していかなければなりません。日々増加していく新型コロナウイルス感染者のニュースに触れるたびに、施設内でも緊張感が増えています。最善、最適な対応ができるようにしたいと思います。

事務職員 市川 浩司



備中荘における新型コロナウイルス感染症対策

岡山県内でも新型コロナウイルス感染者が日に日に増加しています。今一度気を引き締め、備中荘では以下の通り新型コロナウイルス感染予防を実施しています。

●消毒・換気

- ◎手指衛生の徹底
- ◎手すり、玄関、エレベーターのスイッチ等、共有部分の定期的な消毒及び換気
- ◎出勤時のアルコール消毒

●面会の制限

- ◎ご家族様の面会は、各フロアごと1日2名まで（予約制）とし、1階の仮設ブースで透明のシート越しに、ソーシャルディスタンスを保ち、5分間の面会とさせていただきます。洗濯物の受け渡しも1階事務所前に対応させていただきます。

●マスク対応

- ◎全職員、飲食時以外マスクを着用し、3密（密閉・密集・密接）を回避

●毎日の検温

- ◎全職員出勤時の検温の徹底
- ◎全利用者様の検温、体調管理の徹底



また、職員で感染が疑わしい症例が出た場合の対応と、利用者様で感染が疑わしい症例が出た場合の対応をマニュアル（図含む）を作成し配布、少人数でソーシャルディスタンスを保つための伝達会を実施しました。

まだまだ油断の出来ない日々が続きますが、利用者様と職員の安全を第一に考え、引き続き感染予防の徹底に取り組んでまいります。

介護職員 北口 由佳

宇垣荘開設記念日

7月2日は宇垣荘開設記念日です。毎年宇垣荘開設記念日昼食交流会と銘打って地域の方をお招きして皆で昼食を楽しむ会が開催されています。しかし、今年はコロナウイルスの影響で各ユニット内での開催という事となりました。

それでも宇垣荘にとっては大切な日。少しでもお祝い気分を味わえたらと、いつもとは違う席の配置にしてみたり、ソーシャルディスタンスを守りつつ安全に安心して食事を楽しめるように工夫してみました。入居者の方も「今日のごちそうじゃが」と喜ばれていました。食後にはコーヒーを一杯。そしてリモート？形式の紙芝居も行われ、楽しい会になりました。

来年は地域の方と共にお祝いできる事を願って…。

介護職員 多久和 麻美



つなぐ



新型コロナウイルス感染予防対策として、面会制限中で会えないご家族に向けて手紙を書きました。「何を書こうか?」「手が震えて書けんわ～」と言いながら皆さん思い思いに書いておられました。書けない方には職員が代筆しました。直筆の手紙だからこそ伝わる暖かさや、想いがあると思います。

後日、ご家族からお手紙のお返事があり笑顔いっぱい読んでおられました。また、思いがけずある利用者のご家族より私達にもお手紙が届きました。終わりの見えないこの状況に心も体も疲れつつある私達にとって大変励みになりました。

今、この時だからこそ私達が出来る事はなにかを考えながら日々ケアにつとめていきたいと思えます。

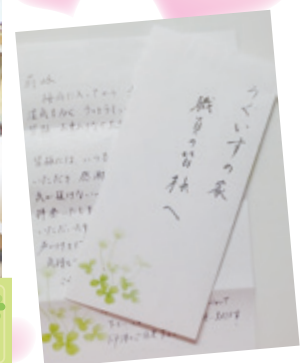
介護職員 長島 真弓



ご家族への
感謝の気持ちを



ご家族を安心させる
言葉で



小規模多機能型居宅介護事業所

人気ランキング

今回は小規模多機能で人気のあるレクリエーションの紹介です。

第3位 ブラックジャック

カードの合計点数が21をねらうゲームです。手作りトランプで小さい数字を使用して計算をしていただくよう工夫しています。「もう一枚もらおうかなあ」と勘を働かせ、「やったー21丁度よ」などと毎回盛り上がっています。

第2位 御津すごろく

このすごろくは皆様が住まわれている御津地域を30マスに分けてゴールを目指します。「あの神社は毎年初詣に行くのよ」「ここでホテルが綺麗に見えるんじゃ」と話が盛り上がりすぎて時間内にゴールに到着する事がほとんどありません。

第1位 歌声カルタ

歌声カルタは読み手が歌い、取り手がその歌詞のタイトルを書いた札を取るカルタです。「吹けば一飛ぶようなー♪」「王将!」「しらかば〜♪」「北国の春!」と回を重ねるごとに歌も取り手も上達する姿に驚かされています。

いかがでしたでしょうか。小規模人気ランキングでした。これからも利用者様とレクリエーションを楽しみたいと思います。

介護職員 中原 朋之



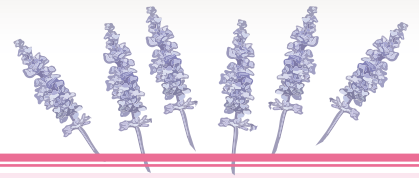
デイサービスセンター

七夕会

7月7日にデイサービス七夕会をしました。前日には、大きな笹をもって来てもらい皆で一生懸命願い事を書き、飾りつけをしました。「みんなが幸せでありますように」「元気でいられますように」「今より年を取らないように」とそれぞれ願いをこめて。ですが残念なことに今年の七夕は雨で天の川が見えなかったです(涙)それでも、宇垣荘デイサービスは笑顔いっぱい、笑いっぱいで楽しいですよ。来年は天の川が見れて皆の願い事がたくさん叶いますように。

介護職員 安藤 知可子





養護老人ホーム

サルビアの寄贈

6月24日、毎年恒例になりましたが、御津婦人会様より『サルビア』の寄贈がありました。感染予防の為、職員のみでの受け取りになりましたが、今年はたくさんのサルビアの苗と合わせてダリアの苗もいただきました。花の世話好きの入所者がすぐに苗をプランターに植え替えて水やりをして下さいました。御津婦人会様、いつもたくさんの苗と土ま



で用意して下さい、
ありがとうございます。
います。

事務職員 吉澤 和幸

喫茶の紹介

月に2回『喫茶』という行事があります。7月の1回目は7月7日の『七夕茶会』です。

短冊に思い思いの願い事を書き、笹に飾りつけをしてあります。今年の短冊には「皆が元気で過ごせますように」「外へ自由に出掛けられますように」「早くコロナが終息しますように」など時節を反映する願い事が多く目につきました。

一方で、お茶会を行っている場所に目を移すと、用意した和菓子と緑茶を皆さんが少し距離を置いて席につき食べられています。談笑しながらお茶会を楽しんでいる様子はいつもと変わらないようでした。

来年は、やり方は違っても入所者の皆さんがいつもと変わらず安心して楽しめる七夕でありますようにと願うばかりです。



7月21日に2回目の喫茶をしました。今回は冷たい物をご用意しました。

昔懐かし?の『アイスクリーム🍦』

BGMを流し、花を飾り少しでも涼しさを感じ取ってもらえればと……。

入所者の皆さんは「冷たくておいしい」「アイスクリーム1個は食べられるかなあ」「冷たいからゆっくり食べよう」など、美味しいアイスクリームを楽しく食べていると、時間はアツという間に過ぎてしまいました。

次回も入所者の皆さんに喜ばれるような趣向を凝らした『おやつ』をご用意したいと思います。

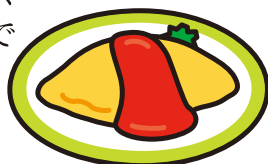


介護職員 入江 育子

行事食を紹介します

行事食の一部をご紹介します。

5月5日の昼食は、端午の節句をイメージしたオムライスと柏餅をお出しました。「鯉のぼりのカードやオムライスが可愛かった。」「おいしかったです。」との声を頂きました。



5月は、給食について個別にアンケート調査を行いました。食べたい料理の間に対して、「寿司」「パン」「うどん」「カレー」が回答の上位でした。6月29日の昼食は、セレクトメニュー（パンまたは御飯）を実施しました。パンを提供する回数が減っていることもあり喜ばれました。パンはリクエストが多かった食パンをお出しました。



7月7日の昼食は、七夕の夜空をイメージした、そうめんといなり寿司、七夕ゼリーをお出しました。

そうめん、いなり寿司が「おいしかったわあ、よかったわー。」と大好評でした。紫蘇や抹茶、玉子を使ったそうめんの色合いもキレイと喜ばれました。

短冊には、入所者様の長寿と新型コロナウイルス終息の願いを込めました。



7月21日は、土用の丑の日。今年の昼食は、鰻ちらし寿司をお出しました。「鰻が思っていたよりも大きかった。」との声を頂きました。鰻もお寿司も好きな方が多くてよかったです。

感染防止の観点から現在8月のバイキングは中止となっております。安心して楽しい給食をお届けできるよう協議を重ねていこうと思います。



管理栄養士 友次 朋恵





和みの郷かなや



養護老人ホーム（一般型特定施設）

和みレストラン

和みの郷ではこれまで、選択食の取り組みとして月に一度バイキングを行っていました。しかし高齢の方が増えて、各種料理を選びながらブースを回ることが難しくなってきました。

そこで、今年度の取り組みとして、月に一度三つの定食メニューの中から選んでいただく『和みレストラン』を始めました。

5月は「天ぷらうどん定食」「焼肉定食」「パンランチ」6月は「海鮮丼」「ハンバーグ定食」「かも南蛮そば定食」といった具合です。

毎月趣向を凝らして料理を考えているので、入所者の皆さんはメニューを見て、「わあ 悩むなあ どれがおいしいかな？」と食べたいものを考えたり、周囲の人と相談したりして、「私は魚」「私はパン」「あんた 何にする？」などとワイワイ言いながら、前の日までにメニューを選びます。



当日は、周囲の人と違うメニューを見比べながら、自分で選んだお気に入りのメニューを食べて「あんたのはおいしいかな？」「私のはこんなんで」などといつもとは一味違う話も弾みます。食べ終わると、次の月は何が食べられるかしらと気になったりして、毎月「和みレストラン」の日を楽しみにしていただいています。

7月のメニュー「唐揚げ定食」「揚げ魚の野菜おろしかけ定食」「中華定食」



栄養士 金藤 海幸

おめでとうございます

入所者の小川みや子さん（97）が作られた短歌が「NHK短歌」に入選作として掲載されました。

この歌は、『若い人が次々逝って、なんで私が一人残っているんだろうと思った気持ち、自分も年を取ったなあと思う気持ちをよんだ歌』だそうです。

これからも、「短歌がうまくなりたいたいとその一心で、生きている。これからも短歌を作り続ける」と話してくださいました。



題は「来」

会いに来て
最期なる人
幾人ぞ
われも老いたり



介護支援専門員 橋本 央子



バーバーかなや

新型コロナ対策を考える中、一番利用者の方にご迷惑をおかけしたのが、ご家族様との「面会」、「外出」、そして「散髪」です。

外部との接触、三密を避けるため三か月間先延ばしにしていた散髪が6月からようやく再開しました。理髪店の方にも協力していただき、マスク着用、一人ひとりの消毒も欠かさずしていただきました。

会場も広く間隔の取れる場所に変更し、隣の方とも間隔をあけ、換気も常に行いました。

そして利用者の方から「やっと散髪してもらえる。」「ばっさり切ってください。後ろは短く刈り上げてください。」等といろいろな要望を言われる方もおら

れ、出来上がりに、大満足され喜ばれていました。

散髪が終わると「とてもいいわあ、すっきりしたあ」などと口々に言われ、満足されました。そしていつもと違う場所から見る風景に、「広くていいわ。あら、朝顔が咲いていて、綺麗ねえ」と言われていました。また、次回の散髪を楽しみにしています。



介護職員 古屋 純子

七夕飾り

7月、各ユニットで皆さんそれぞれに願い事を書いた短冊と思考をこらした笹飾りを作りました。短冊には「みんな仲良く暮らせますように!」「健康で長生きができますように!」「しんどくなくようにお風呂にはいれますように!」等の思いの願い事をしました。笹飾りは色紙の輪で綱飾りや貝がらや提灯を作りました。玄関先では、皆さんの手から施設長に手渡しながら、飾りつけをしました。その後の記念撮影では、とてもいい笑顔が印象的でした。



紙芝居や民話のかたりで、野菜のきゅうり、なす、みょうがで、馬、牛、にわたりの動物を作り一緒に飾るのはなぜか?等の七夕のいわれを知りました。立派な飾り付けが出来上がり、その後、みんなで七夕のうたをうたい、とても楽しいひと時を過ごしました。



焼酎が飲みたい



介護職員 松永 慶子

新人紹介

新しい仲間たち




我々の仲間入りしました。

- ①抱負、自己紹介等 ②趣味・特技・好きな言葉、音楽…



なでしこ苑


事務員 岩下 由里子



①7月から事務員として働かせて頂くことになりました。福祉のお仕事は初めてで、まだまだ分からないことが多いですが、1日も早く一人前になれるよう努力します。よろしくお祈りします。
②趣味：スポーツ、ドライブ

たちばな苑


看護職員 松家 聡子



①6月から勤務させて頂いています。以前は総合病院で勤務していました。まだ分からないことも多いので、ご指導お願いします。頑張ります。
②趣味：ライブ、フェス、旅行、子どもと遊ぶこと、おいしいものを食べる

宇垣荘

介護職員 竹山 太樹



①7月より、宇垣荘介護職員として勤務しています。少しでも早く業務を覚えて、職員、利用者の皆様のお役に立てるように頑張ります。
②趣味：マラソン、ゲーム、キャンプ、漫画を読む、旅行、温泉など。



編集後記

木もれ陽



令和2年7月豪雨で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。豪雨災害は岡山でも2年前に大災害がありましたが、ここ数年、毎年のように起こっています。日々の備えの大切さを痛感しています。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大がおさまりません。第2波と呼ばれるように以前に増して感染者数が増大しています。ワクチンや治療薬は開発途中であり、先の見えない状況で不安にかられます。特に感染すると重症化するとされている高齢者施設では、マスク着用、手洗い、消毒等の感染対策と感染予防のための面会制限、集団行事の自粛等が行われ、入所者の心身機能の悪化が懸念されています。

施設で感染者を出さないことを第一に、限られた生活の中で楽しんでもらえる活動に取り組んでいますが、一日も早くこの事態が終息することを願うばかりです。

みなみがた荘 森本 尚俊